# 著者紹介（執筆順，＊は編者）

〔章著者〕

**＊クロス京子**（くろす　きょうこ）　**序章・第9章**

京都産業大学国際関係学部教授

『グローバル正義の変容――グローバルサウスの台頭と新たなポリティクス』（ナカニシヤ出版，2025年／共著）。

“The Pursuit of Justice, Truth, and Peace: Reflections on 20 Years of Imperfect Transitional Justice in Timor-Leste,” *Asian Journal of Peacebuilding*, 9（1）（2021）

**＊山根達郎**（やまね　たつお）　**序章・第3章**

広島市立大学広島平和研究所准教授

“Hiroshima’s Ongoing Peacebuilding and Beyond: How Does This Local Initiative Seek to Extend to World Peace?” *War & Society*, 43(1)（2024）

「ウクライナ戦争以後の国連とアフリカ――『アフリカによる行動』と『アフリカをめぐる行動』の視点から」『国連研究』第25号（2024）

**キハラハント愛**（きはらはんと　あい）　**第1章**

東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム教授

*The Future of Peacekeeping, New Models, and Related Capabilities - Independent Study Commissioned by the United Nations Department of Peace Operations*（UN DPKO，2024／共著）

*Holding UNPOL to Account: Individual Criminal Accountability of United Nations Police Personnel*（Brill Nijhoff, 2017）

**本多倫彬**（ほんだ　ともあき）　**第2章**

中京大学教養教育研究院准教授

『アジアからみるコロナと世界――我々は分断されたのか』（毎日新聞出版，2022年／共編著）

『平和構築の模索――自衛隊 PKO 派遣の挑戦と帰結』（内外出版，2017年）

**田中（坂部）有佳子**（たなか（さかべ）　ゆかこ）　**第4章**
共立女子大学国際学部准教授
『国際平和活動の理論と実践――南スーダンにおける試練』（法律文化社，2020年／共編著）
『なぜ民主化が暴力を生むのか――紛争後の平和の条件』（勁草書房，2019年）

**片柳真理**（かたやなぎ　まり）　**第5章**
広島大学大学院人間社会科学研究科教授
"Reconstructing Hiroshima as a Peace Memorial City: Local Agency and Identity-Making in Peacebuilding," *War & Society*, 43(1)（2024／共著）
『平和構築と個人の権利――救済の国際法試論』（広島大学出版会，2022年／共著）

**二村まどか**（ふたむら　まどか）　**第6章**
法政大学社会学部教授
「出口戦略と戦犯訴追――戦争から平和への移行期政策」『国際安全保障』第50号第1巻（2023年）
「移行期正義研究史の一考察――平和と正義の関係を軸に」『国際法外交雑誌』第114巻第4号（2016年）

**杉浦功一**（すぎうら　こういち）　**第7章**
文教大学国際学部教授
『民主化支援――21世紀の国際関係とデモクラシーの交差』（法律文化社，2010年）
『変化する世界をどうとらえるか――国際関係論で読み解く』（日本経済評論社，2021年）

**古澤嘉朗**（ふるざわ　よしあき）　**第8章**
広島市立大学国際学部教授
『国際紛争解決論――理論と政策の橋渡し』（渓水社，2024年／共編著）
「平和構築と平和学――紛争解決論という視座からみる平和構築」『平和研究』第60巻（2023年）

**赤星　聖**（あかほし　しょう）　**第10章**
神戸大学大学院国際協力研究科准教授
"Reconciliation as a Norm Diffusion Mechanism: The Case of Japan and Human Security," *The Pacific Review*, August 2025（2025／共著）
『国際機構論――理論と活動』（法律文化社，2025年／共編著）

**武藤亜子**（むとう　あこ）　**第11章**
独立行政法人国際協力機構（JICA）緒方貞子平和開発研究所専任研究員／立教大学大学院社会デザイン研究科特任教授
『人道的対応とは何か――シリア紛争の教訓』（法律文化社，2026年）
「紛争中の自然災害――シリアにおける複合危機の発生から人間の安全保障への示唆」『JICA 緒方研究所レポート「今日の人間の安全保障」』第２号（2024年）

**和田賢治**（わだ　けんじ）　**第12章**
武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部教授
『批判的安全保障論――アプローチとイシューを理解する』（法律文化社，2022年／共著）
『シリーズ戦争と社会１　「戦争と社会」という問い』（岩波書店，2021年／共著）

**落合直之**（おちあい　なをゆき）　**第13章**
独立行政法人国際協力機構（JICA）シニア・アドバイザー（ミンダナオ和平）
『世界に向けたオールジャパン――平和構築・人道支援・災害救援の新しいかたち』（内外出版，2016年／共著）
『フィリピン・ミンダナオ平和と開発――信頼がつなぐ和平の道程』（佐伯印刷，2019年）

**井口正彦**（いぐち　まさひこ）　**第14章**
京都産業大学国際関係学部教授
『国際関係論入門』（ミネルヴァ書房，2023年／共著）
『公共論の再構築――時間／空間／主体』（藤原書店，2020年／共著）

〔コラム著者〕
**山本慎一**（やまもと　しんいち）　Column 1
香川大学法学部教授
『国際平和活動の理論と実践――南スーダンにおける試練』（法律文化社，2020年／共編著）
『国際平和活動における包括的アプローチ――日本型協力システムの形成過程』（内外出版，2012年／共編著）

＊**中内政貴**（なかうち　まさたか）　Column 2
上智大学総合グローバル学部教授
『外交・安全保障政策から読む欧州統合』（大阪大学出版会，2023年／共編著）
『地域から読み解く「保護する責任」――普遍的な理念の多様な実践に向けて』（聖学院大学出版会，2023年／共編著）

**小林正英**（こばやし　まさひで）　Column 3
尚美学園大学総合政策学部教授
『ROCK ！で学ぶ国際政治学』（ナカニシヤ出版，2026年／共編著）
『EU の世界戦略と「リベラル国際秩序」のゆくえ』（明石書店，2023年／共著）

**辻田俊哉**（つじた　としや）　Column 4
大阪大学 CO デザインセンター准教授
*“Fragile Stability” as a Political Background of October 7: Current and Foreseeable Issues in the Israeli-Palestinian Conflict*（Springer，2025／共編著）
『イスラエル・パレスチナ（シリーズ・中東政治研究の最前線 3）』（ミネルヴァ書房，2020年／共著）

**槌谷恒孝**（つちや　つねたか）　Column 5
京都橘大学国際学部准教授
「適応的平和構築と国連システム――シリア紛争とイエメン紛争を事例に」『国連研究』第25号（2024年／共著）
「紛争国における国連の人道・開発・平和の連携（トリプルネクサス）の実践可能性に関する考察――イエメンでの人道・環境危機回避のためのセイファー号原油移送オペレーションを事例として」『緊急人道支援研究』第 2 号（2026年）

**片山夏紀**（かたやま　なつき）　Column 6
都留（つる）文科大学教養学部専任講師
『ルワンダのガチャチャ裁判――ジェノサイドの被害者と加害者の賠償をめぐる対話』（風響社，2025年）
『ルワンダの今――ジェノサイドを語る被害者と加害者』（風響社，2020年）

**竹内海人**（たけうち　かいと）　Column 7
神戸大学大学院国際協力研究科博士課程後期／独立行政法人国際協力機構（JICA）調査役
*Forced Migration and Humanitarian Action: Operational Challenges and Solutions for Supporting People on the Move*（Routledge，2024／共著）
*Guidance Note: Humanitarian Action for Different At-Risk Groups in Displacement*（JICA Ogata Sadako Research Institute for Peace and Development，2024／共著）

**大井綾子**（おおい　あやこ）　Column 8
独立行政法人国際協力機構（JICA）ガバナンス・平和構築部平和構築室室長
『西太平洋連合のすすめ――日本の「新しい地政学」』（東洋経済新報社，2021年／共著）

**上野友也**（かみの　ともや）　Column 9
岐阜大学教育学部教授
『膨張する安全保障――冷戦終結後の国連安全保障理事会と人道的統治』（明石書店，2021年）
『戦争と人道支援――戦争の被災をめぐる人道の政治』（東北大学出版会，2012年）

**石川幸子**（いしかわ　さちこ）　Column 10
立命館大学国際関係学部特別任用教授
*Human Security and Empowerment in Asia - Beyond the Pandemic*（Routledge，2024／共著）

**渡邊絢子**（わたなべ　あやこ）　Column 11
秋田大学大学院国際資源学研究科助教
『ビジネスと人権――グローバルトレンドとアジア』（日本貿易振興機構アジア経済研究所，2025年／共著）
『はじめての国際政治経済学――アクティブ・ラーニングで学ぶ理論と政策の基礎』（法律文化社，2025年／共著）